

果樹病虫害発生予察調査結果（４／２５調査分）
（三条、加茂、田上地域）

４月２５日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共 通）

- 有効積算温度によるふ化盛期は、クワコナカイガラムシで**５月７日頃**、ウメシロカイガラムシで**５月１４日頃**、クワシロカイガラムシで**５月２８日頃**です。今後の気象条件や園地状況により発生が早まる場合もありますので、ふ化状況を確認し、防除適期を逃さないよう、早めの防除を心掛けましょう。
- フェロモントラップによるナシヒメシンクイの誘殺数が多くなっています。越冬世代のピークは昨年より早めで、第１世代幼虫の防除時期は**４月中旬～５月上旬**と予測されますので、丁寧な防除に努めましょう。

（ナ シ）

調査地点ごとに２００花葉そうを調査しました。

- 今回調査で花腐細菌病は確認されませんでしたでしたが、り病花そうを確認したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- 今回調査で黒星病は確認されませんでしたでしたが、５月中旬頃まで子のう胞子の飛散が続き、降雨で感染リスクが高まります。昨年多発した園地や湿気の多い園地は特に注意が必要です。通風の改善等にも留意しましょう。
- 今回調査でセイヨウナシ褐色斑点病は確認されませんでしたでしたが、昨年発生が多かったことから、り病葉を確認したら摘み取り、園外で処分しましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに100花および100葉そうを調査しました。

- 一部で、縮葉病り病葉、花腐れ症状(灰星病)が確認されました。
開花期に降雨もあったことから、発病を確認したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- 一部で、せん孔細菌病春型枝病斑が確認されています。特に、樹の上部で多発すると直下の枝葉で被害が大きくなる恐れがあります。見えづらい場所ですが、丁寧に確認しましょう。また、風雨により拡散しますので、発病枝は切除し園外で処分しましょう。
- 一部で、コスカシバの虫ふん(フラス)が散見されました。フラスや食入した穴が確認された場合、周囲を金づちで叩く・切開して幼虫を潰す等早期に対処しましょう。

※ 薬剤防除は防除暦の散布時期ではなく、生育にあわせた対応をお願いします。

次回調査は5月9日(金)です。

担当 : 中越支所 果樹共済係 TEL : 0258-36-8105 FAX : 0258-34-8020
